





クルーズ船の始まりだ!

2015年3月某日。クルーズの最初のダイブポイントは、「アニタズリーフ」。朝一番でエントリーし、 水面から斜光が差し込む風景の中に潜降していく。お魚たちの様子もどこか生き生きとして、生まれ たての新鮮な海の中にいることを幸せに思う。ガイドの大村健さんに付いていくと、ソフトコーラルが 群棲し、スカシテンジクダイが群れる根に連れて行ってくれた。銀河のようにキラキラと輝く根は美しく、 生命の躍動感に溢れていた。その根だけでほぼ50分も撮影に費やし、ダイビングを終えた。どう撮 影したら終わりになるのか? まったく困った美しいポイントだった。





















2本目のポイントは、「ウエストオブエデン」。丸 い奇石が積み上がる島の海底を潜ると、そこは大き な丸い岩が並び、ソフトコーラルとイソバナが所々 に群棲するカラフルなポイント。別名「ウミウチワ の街」と呼ばれる。傾斜の隣にある砂地では、マッ コスカーズラスなどがフラッシングしたり、ベラの 仲間やスズメダイの仲間の数も種類も多い。ハナ ダイの群れもある牛物層が多様なポイント。浅瀬で は、シシマイギンポなども見られた。





Trave Thailand Similan & Khaolak シミラン&カオラック







生態観察の面白さinアンダマン海

4本目は、サンセットダイブでドナルドダックベイに潜る。目的は生き物たちの生態 観察。明るいうちにガイドの健さんが、いつも観察しているサンゴの周辺に到着。まず、 サンゴの上にいるカエルウオなどを撮影していく。そして、周囲が段々と暗くなり、

健さんの合図でライトの先を見ると、ブラウンピグミーエンジェルフィッシュが放精放 卵を行っていた。そして、今度はヒメゴンベの求愛。2匹が語らうように寄り添う。そ の姿が何とも可愛い。最後は、こちらも放精放卵。タイの熱い夜は更けていく。







華やかでダイナミックな海中世界

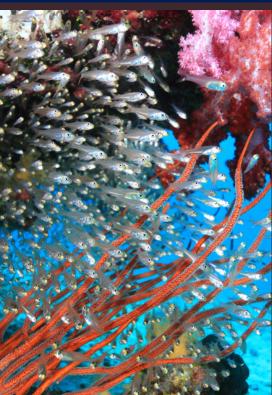
2日目の1本目は、「ノースポイント」へ。エントリーしに向かった先は、「離れ根」 というエリア。大きな巨石の上などに立派なイソバナが群棲している。スカシテンジ クダイの数も多く、まるで宇宙のような趣がある。「離れ根」で十分に楽しんだ後は、 ボートの下へ。ここも、大きなキャニオンのような地形など見所がたくさん。マクロ の生き物は、タツノイトコやエバンスアンティアスを見つけることができた。



















2本目のポイントは、「スリーシスター ズ」。ここもシミランらしい華やかなポ イントで、砂地の上にいくつかの根が 点在して、そこにはソフトコーラルやイ ソバナが群棲し、スカシテンジクダイ が覆う。いくつかの根を周ったが、根 ごとに特徴があるので、飽きることは ない。また周囲の砂地では、ジョーフィッ シュ、オーロラシュリンプゴビー、中層 では、バラクーダやツバメウオの群れ に会うこともある。











3本目は、「コボン」へ。昨日から、マンタとジンベイザメ が出ていると情報が入り、期待度満点。ポイントに着き、ガイ ドさんがカレントチェックに行くと、「マンタが1枚居た!」との 早々の報告。用意をして、エントリーするとすぐにマンタにご 対面。コボンのリーフエッジの所で、ダイバーの合間を上手く 泳いでいる姿は、まるでダイバーに挨拶をしているようだった。 マンタの泳ぐルートを見ていると、スカシテジクダイが群れる 根があり、そこがクリーニングステーションになっているのか、 必ずそこの上を通るので、その周りで待機。すると期待通りに マンタは銀色のカーテンの中から現れてくれた。そして最後は、 リーフの先端に向かい、そこでもソフトコーラルの森とごっちゃ りスカシテンジクダイの群れを楽しんだ。ジンベイザメは出な かったけど、とても充実した1ダイブだった。



2夜連続の生態サンセットダイブ

4本目はサンセットダイブで「コタチャイ」へ。陽が傾く前にエントリー。夕方のハンティングの時間、小魚の群れに向かって、マテアジやロウニンアジ、カスミアジがアタックする。時には「ゴーッ!」と海中で群れが大きく揺れる音がする。自然のダイナミズムを感じる。そして、ガイドの健さんに導かれてある海底へ。彼のライトの先には、スターリドラゴネットの群れが居る。大きなオスがメスを優先的に放精放卵を行

うが、小さなオスも負けじとメスを誘う。その姿がとても愛おしい。そして、「カンカン」と言う合図で振り向くと、エイブルズエンジェルフィッシュがモビングしていた。2日間のサンセットでこんな素敵な生態シーンを見せてくれるなんて、本当に感動で、命の尊さを教えられる。





アンダマン海からのプレゼント!

3日目の1本目は、早朝の「コタチャイ」。サンセットの時と同じように、お魚たちの ハンティングの雰囲気がする。アジなどが活発にパトロールして、虎視眈々とスカシテ ンジクダイなどの小さな魚を襲うタイミングを計っている。エントリー直後から、イエロー バックフュジュラーが多いなと思っていたが、少し水深を下げて待っていたら、周囲全 てがイエローバックフュジュラーに囲まれた。これまでに何度も大きなイエローバック

フュジュラーの群れに遭遇したが、今回が最大だった。どんどんと生まれる黄色い洪水 に感動せずにはいられなかった。もう他の生き物はそっちのけで、ひとしきりイエロー バックフュジュラーを撮影してダイビングを終えると、冷たい潮が上がってきて、サー モクラインが起きた。ガイドの健さん曰く、この冷たい潮のせいで、イエローバックフュ ジュラーが集まってきたらしい。想像もしなかった朝からの素敵なプレゼントだった。

Trave Thailand Similan & Khaolak シミラン&カオラック

















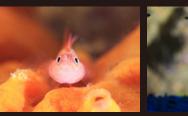
リチェリューロックに潜らないと帰国できない!

2本目と3本目は、「リチェリューロック」に移動。さすがにこのクルーズのメ インのポイントだけあって、魚影の濃さは抜群。まず目につくのが、キンセンフ エダイの群れ。まるで黄色いじゅうたんのように海底を覆い尽くす。そこにロウ ニンアジが飛び込むと、まるでペンキが飛び散るように海中に色が弾ける。群れ は他にもギンガメアジ、ツバメウオ、ホソフエダイ、ハナミノカサゴなどなど、 海の至る所に集まっている。また、マクロの生き物も面白く、フリソデエビ、タ イガーテールシーホース、アカオビハナダイなどは確実にガイドさんが見せてく





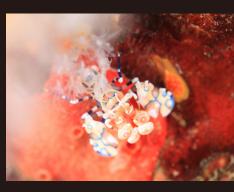












4本目は、サンセットで「リチェ リューロック」。暮時からエントリーし て、まずは、根のトップの海藻が繁 茂しているエリアを撮影。海の中だ けど、まるで風景写真のような絵が 撮影できる。その周辺でウミウシや オニカサゴを撮影して、少し水深を 落とす。日中にお魚が群れていた場 所までいくと、まるで夜空の中にたく さんのお魚が星のように浮かんでい た。ストロボを光らせると、星はより 輝きを増し、流星群のように夜空を 渡る。すごい量の光が瞬くので、ま るで夜のエンターテイメントだ。岩の 隙間にヨウジウオの集団を発見。繁 殖行動かな?とも思ったが、タイムア ウト。リチェリューロックで、サンセッ トからナイトなんて、やっぱ贅沢だ。











クルーズの後半も 素敵ポイントへ!

4日目の 1 本目は「コボン へ。前回、マンタを無事に見たので、今回の狙いは、 ホカケハナダイ。日本ではとっても珍しいハナダイで、かなり稀種。水深30m 位にいるということで、まずはそこまで。マッコスカーズラスが群れて泳いでい る。その中に紛れて泳いでいるそうだが、見つけるのがなかなか難しい。ガイ ドの健さんのライトの先に注目すると大きな丸い帆を持つハナダイがいた。こ れまで見たものとは明らかに違う。頑張って撮影しようと距離を縮めようとして もなかなか難しく、結局逃げられてしまった…。その後、水深を上げて先端の 方で、変わらずスカシテンジクダイが群れる根や壁を撮影しながら、この海いっ ぱいに命が溢れていることを実感。最後にコボンで大好きなウォーターフォール の下で砕ける波を撮影して終了。

Similan & Khaolak









2本目は「ボンスーンレック」へ。ここは少し透明度は悪いが、魚影はとても濃いポ イント。ギンガメアジやバラクーダ、フエダイの群れを眺めながら沈船の周囲を泳ぐと、 人工物の陰にオレンジドワーフゴビーやウミウシの仲間が見つかる。外洋側とはまた違 うスタイルのダイビングを堪能し、楽しいクルーズダイブを終了した。























シミラン&カオラック







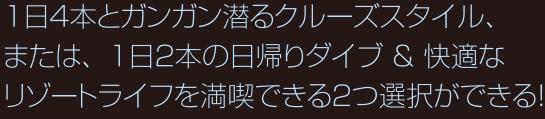












さっ、あなたは?

今回お世話になったダイブクルーズ船は、ハレルヤ号。タイ国内最大級を誇る 全長35m、全幅7.6m。揺れに強く抜群の安定感。船酔いしやすい方も安心。全キャ ビン、プライベートシャワー、トイレ付き。VIPシングル(TV、冷蔵庫、DVD)、全 10スタンダード、デラックスダブル2部屋VIPで13部屋、定員25名。食材が豊富で、 料理が美味しい。サンデッキなど共用の快適スペース。ダイブプラットホームから エントリーできる。バリアフリーのダイブデッキも自慢。ゲストは日本人ダイバーだ けでなく国際色豊か。海外ダイブに来ている雰囲気が満載のダイブクルーズ船だ!











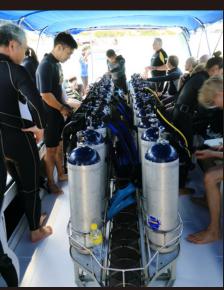


デイトリップの楽しみ方!

シミラン諸島、コボン、コタチャイ、リチェリューロックは、ダイブクルーズ船で毎日移動しながら潜ること もできるが、他にデイトリップでも潜りに行ける。朝、車でダイビングセンターのスタッフがリゾートへお迎え、 そして約30分、車移動してバンナムケムの港まで行く。そこからスピードボートに乗り、約1時間ほどで各ポ イントまで潜りに行くことができる。シミラン諸島のポイントなら、ランチタイムに島に上陸することもできる。 デイトリップは毎日出航しているが、曜日によってポイントが違うので事前に確認して欲しい。デイトリップでは、 2ダイブしてリゾートに戻ってくるのが、夕方の4時から4時30分。それからシャワーを浴びて、カオラックの 街歩きやレストランで美味しいご飯を堪能することができる。













ビックブルーカオラック

タイでも人気のダイビングセンター。カオラック(アンダマン海)とタオ 島にお店があり、タイの海を網羅する。いつも笑顔で個性のあるガイド陣 が揃い、ベテランからビギナーダイバーまで細やかなサービスを提供して くれる。そして、クルーズ船、スピードボートによるデイトリップなど、アン ダマン海の魅力をゲストに伝え続けている。去年(2014年)から、バン ニヤン地区の日本人オフィスが移動したビックブルーカオラック店。より日 本人ダイバーへのサービスを充実。オフィスの周囲は静かで、ゲストハウ スから高級リゾートまであり、レストラン、お土産屋さん。ローカルフード 店などもあるので何かと便利。ビーチアクセスもたったの10分。











おすすめのレストラン IN カオラック

10年以 ジョーズ 上あるカ オラックの

人気ステーキレストラン。店名であるジョー おじさんが焼く、絶品ステーキを堪能できる。 あのカオラックを襲った津波の後、レンガを 積み立て、ひとりでお店を作り直し始めた。 欧米のゲストが多く、予約必須。値段は20 Ogのステーキが450バーツくらい。











ムーカタは、焼肉とお鍋が融合したタイスタイルの料理。タイ語でムーが豚肉、カタがお鍋という 意味。しかしお肉は豚だけでなく、チキンやホルモン系、またエビなどの魚介類なども。とにかくメニュー が豊富で、選び放題、食べ放題。そして値段もリーズナブルなので、ぜひ、みんなでワイワイと食べたい。





Similan & Khaolak シミラン&カオラック

ENZO

カオラックで唯一の本格的日本食レストラン。 近海で採れた新鮮なお魚のお刺身や近郊で作ら れた温泉卵などオーナーのこだわりがいっぱい のお店。宮崎牛の溶岩焼きステーキが1g10 バーツで絶品。隣に、酒&ワインバーエンゾー ズを併設。2軒目は深海もモチーフにしたスタイ リッシュなバーでの1杯も美味しい。お酒の種類 も多いのがこれまた嬉しい。













お薦めの宿泊施設

モーティブコーテジ

トニーロッジの並びにあるリゾート。大通りに面し、ビックブルーカ オラック店もコンビニも近いので何かと便利。中庭は大きなプール とレストランを併設。お部屋は明るく、雰囲気も良く、タイクッション のある寛ぎのエリアはタイのリゾート感がある。お友達、カップル、 また、シングルダイバーにもお薦めの宿。













スダラ・ビーチ・リゾート

バンニアンビーチから少し奥まったところに位置する、緑溢れる広い敷 地を持つ、静かなロケーションのリゾート。リーズナブルだが、バスタブ もあり、南国リゾートの雰囲気を満喫できる。

Similan & Khaolak

蔦が覆う可愛い外観が特徴。 シミラン&カオラック シンプルだけど、ホットシャワー、

トニーロッジ

エアコン、冷蔵庫などダイバーに最小限の設備がそろっている。マー ケットやコンビニなどへのアクセスが便利。ビッグブルーバンニアン 店へ徒歩圏内。











